

新庁舎建設検討委員会 職員ワーキンググループ 第4回防災・セキュリティ部会

1. 開催日時：平成30年12月11日（火）午前10時00分から午前11時45分

2. 開催場所：富良野市役所2階 議会打合室

3. 出席者： 7名

4. 報告事項

(1) 職員ワーキング合同会議の実施

・開催概要の説明(資料配布)

(2) 第2回市民ワークショップの開催

・開催概要の説明(資料配布)

5. 協議事項

(1) セキュリティ機能について

○各フロアのセキュリティレベル

・他市の基本計画等の資料を参考に本市庁舎のセキュリティレベルの設定を検討

⇒ポイントは、ゾーニングと入退室記録等

(事務局より)

・北広島市役所は、議会関連の部屋(ゾーン)への立ち入りは議会事務局の管理下でのみ可能

※同一フロアに、市民向け展示スペース等があることも要因か？

・理事者の部屋等についても制限をかけている

・会議室については、利用予約を行った職員のみがICカードで開錠可能

・入退室管理もICカードで行っている

⇒セキュリティへの考え方は厳しめだと思われる

・町内会などへの印刷機利用サービス等は、文化会館的な場所に別途用意している

・サーバー室へのセキュリティ対策・入退室管理が必要(ICカード・生体認証等)

・セキュリティレベルの区分は、参考資料程度の区分が良い

・ゾーニングをまたぐ際の認証はどうするのか？

・共用ゾーンと執務室との区分けは必要である～ゲート設置・什器による区分

・職員向けのゾーンの中でも、サーバー室への対策は必要

・現金を扱う部門(会計等)にも必要

・書庫も、マイナンバー等の取り扱いが厳しく制限されているものと、一般文書でセキュリティレベルを変える必要がある

⇒(事務局)北広島市は旧庁舎に書庫を残している

・文化会館機能を持たせた際の線引きはどうする？避難場所として使う際に長期化した場合の対応はどうするのか？

⇒通常とは異なる体系でどのように区分けをするかが課題

・セキュリティ対策の手法としてICカードによる認証とするのか？他の手法とするのか？

⇒ICカードによる認証のほか、生体認証(指紋・静脈・顔等)がある

生体認証の場合、構築に手間がかかるがセキュリティレベルは高い

※登録作業の際、一回で終わらないケースがあり登録作業を行う事業者等のスキルに左右される場合がある

ICカードの場合、汎用性も高く導入はしやすい反面、他人のカードで入るなど「なりすまし」のリスクがある

・ICカードを使う際には、出先の職員に対しても配慮が必要

⇒カードの考え方(身分証などと兼用)について整理する必要がある

★セキュリティレベル(ゾーニング)の区分は、清瀬市の事例のような3区分ぐらいで良いのではないかと考える(共用ゾーン・執務スペース・職員専用スペース(サーバー室等))

○防犯の観点からのカメラの設置

・サーバー室にカメラの設置は必要か？

⇒職員が常駐するか否かによっても変わる

・不特定多数の出入りがある場所にはカメラが必要ではないか？

・執務スペースにカメラは必要か？

⇒フロア内に死角を作らなければ不要

・交流スペースなどの空間にはあった方が良くはないか

・会議室には必要か？

⇒オープン化(見える化)をしていけば不要

・相談室的なところは？

⇒取調室のような感じで、利用者も嫌なのではないだろうか

★空間のオープン化を進め死角を減らすことによって、カメラの設置台数を減らすことができるのではないかと考える

○フリーアクセスフロア

・執務スペースのレイアウトの自由度を高め、美観の点からも必要ではないか

・製品の種類としては、埋設するケーブル類も多いので「支柱調整式」が良いのではないか

・1階部分は、万が一の浸水のことも考えておく必要がある

・サーバー室については、ケーブルの本数も多く電源ケーブルも太いため、通常のフロア(50mm程度)よりも深さのあるもの(250mm程度)が必要ではないか

・執務スペース、サーバー室にはフリーアクセスフロアが必要

・災対本部となる会議室にも必要ではないか？

⇒すぐに使えるよう、あらかじめ必要なケーブル類を入れておいた方が良くはないか

・普通の会議室には無くても良くはないか

・文化会館側の会議室は、プロジェクターなどを使うことも多いので必要ではないか？

⇒配線用のピットで良くはないか？何らかの対応は考えておいた方が良く

★フリーアクセスフロアは、執務スペース・サーバー室・一部の会議室で設置する必要がある  
と考える

(その他)

・防災拠点としての物資の保管スペース確保と水防倉庫との棲み分け

～すべての防災に関する物資を庁舎内に保管するのではなく、別途、倉庫などを用意してそちらに保管することはできないだろうか？

本庁舎の浸水等による被災も想定して、物資を分散保管をすることはできないだろうか？

※保管スペースを庁舎内に設置すると、その分だけ床面積が増え建築コストに跳ね返る

⇒すべてが庁舎内に保管する必要があるわけではなく、分散保管も考える必要はあるが、万が一の際の対応方法等を考えておく必要がある＝BCP との整合性

併せて、災害時の現場対応を含めて共通する部分で、トラックが不足しているのでそろえておく必要がある(物資の輸送等でも必要となる)

文化会館の持つ一時避難場所としての機能は引き継ぐことから、一定程度の備蓄資材の確保は必要と考える(想定規模をどのようにするか)

・BCP の策定についてはどの程度まで求められるのか？

⇒実施計画の段階で出さなくてはならないので、来年5月ぐらいまでには策定が必要

具体的な内容については求められていないので、個別業務ごとの内容までは盛り込まず、富良野市としての基本的な対応方針計画で良いと思われる

## 6. その他

・本部会の全体のまとめとして、年内(12月中)にもう一度部会を開催する

・12月17日に札幌で開催されるセミナーに朴木さんが参加する